

おはようございます。皆さんが本校に入学してから本来の形での初めての全校集会です。

約3年間続いた、感染症に対する人類の取組がようやく落ち着きを取り戻そうとしています。とはいっても、皆さんにとって3年間はとても長いです。私やベテランの先生方にとっては、約60年の中の3年なので、20分の1でしかありません、ですので、アッ言う間だったと感じています。しかし皆さんは生まれて、まだ16.7年です。小さい頃は覚えてないでしょうから、いわゆる物心ついてからだとして人生の3分の1近くにあたると思います。おそらく、わたしが感じている時間の感覚よりずっと長く、3年前は遠い昔のことだと思えます。また長い期間に感じると同時に、コロナ前の世界に戻すと言われても、コロナ前の高校生がどうだったのか知るはずもないと思えます。だってそのころ、まだ中学1.2年生だったのですから、思春期の大人になる大切に時期にコロナ禍と呼ばれる3年間を過ごした皆さんが急に、それ以前の世界に戻すと言われても、容易ではないことは想像できます。

過去は絶対に変えられません。また、それ以前の高校生と比較することもある意味ナンセンスだと思っています。なぜなら現に私の目の前にいる皆さんが、現在の大宮光陵高校そのものなのです。私たち大人は、昔どうだったとか、前はこうしたとか、つい言ってしまいます。もちろん過去の教訓を生かすことはとても大切ですが、過去の先輩方とは違う環境で育った、現在の生徒諸君にとっては、ある部分では、どうしてもよく、それよりは今のあなたが、今日明日どう生きるかを考えることが重要です。

そのことを考えながら、一年間を過ごしてきました。

さて昨年の4月8日に始まった令和4年度も、本日をもって、締めくくることになります。締めくくりにあたり、少し1年間を振り返ってみたいと思います。

4月の始業式では、「新・3無主義」の話をしました。一見、無理なこと、無茶なこと、無駄なことに夢中になる。そんな若者になってほしい。人類の歴史の中で、一見、無理なこと、無茶なこと、無駄なことが未来を作ってきた。一見無理なことが皆さんの可能性を広げ、無茶なことが人生の飛躍を生む。他人が見たら無駄なことが生活に彩りを与える。そんな話をしました。この一年を振り返ってみてください、いくつくらい多少無理だと思える思える挑戦(チャレンジ)ができましたか？

2学期の始業式には、組織の中は「できる方法」を考える人と「できない理由」を考える2つに分かれてしまうという話をしました。ある企業の話しに例えて、「できる方法」を考える人が多いほど、その組織は成長し、「できない理由」を並べる人が多いほど、その組織は衰退するという話です。そのあとすぐ後に文化祭があったり、2学期は修学旅行があったりとクラスや生徒同士が協力しなければならない場面が多いと思ってそんな話をしま

した。みんなで相談して様々なことを決めたり、行動したりしたと思います。困難な時ほど、『できない方法』を見つけて楽な方へ逃げたりしないで、みんなで「できる方法」を考えて様々な行事を成功させてくれたと思っています。ありがとう。

2学期の終わりに、「現状維持は衰退を意味する」という話と、「新しいアイデア」を探して自分自身を毎日「チャレンジさせてみる」明日の自分を変えられるのは自分だけだ。という話をしました。

3学期の始めには、スポーツや芸術に例えて『基礎・基本』の大切さについて話しました。基礎練習を苦手なのは仕方ないですが、嫌いになってはいけません。苦手でも、そこを鍛えなければ「基礎・基本」が身につけません。基礎基本の大切さを、今一度、見直して大切にし、毎日を振り返り、少しずつ反省し、毎日、明日の新しい自分を作ってほしいという話でした。

さて普通科の5クラスは今日でおしまいです。さみしさもあると思いますが4月からは新たな友達や担任の先生となります。人とのつながりが広がると思い楽しみにしててください。

そして、1年経ちました。1年間いかがだったですか？成長しましたか？力付けましたか？今一度、自分自身と向き合って、振り返ってみてください。そして、今の自分を見つめたときに、今日以降何をすべきか、4月から何をすべきか、考えてみてください。

2年生は、高校生活はもう残り1年を切りました。部活動も県総体や県高総文祭まであと2ヶ月となりました。新入生と呼ばれていた1年生も、あと少しで後輩たちが入学してきて、責任ある立場になっていきます。こうしているうちにも、1秒1秒、時間はどんどん過ぎていきます。皆の貴重な高校生活をいかに過ごしていくか、私の中でのキーワードは、やはり「挑戦」だと思っています。4月から、さらに成長して欲しいと思います。この続きは、新しい年度にすることにして、今日の挨拶とします。